



## 学校自己評価から

11月から12月にかけて行った2学期の学校自己評価のアンケートにご協力いただきありがとうございました。1学期との比較から別紙のような結果が出ております。この結果と生徒の姿、学校体制等を踏まえ、改善の方向を考えて参りたいと思います。

### 1 学習 「目と耳と心で話を聴く生徒」

生徒の学習に対する満足度は1学期に比べ4%上がっており、授業や家庭学習の取り組みが改善されたという生徒も増えています。これは学力アップを狙った「一中セミナー」や教科だけでなく学級・部活動も連携した「提出ノートチェック」等、「学力充実期間」の学校としての取り組みを強化したことが影響していると思われます。一方で保護者は1%アップにとどまりました。

来年度も普段の授業を大切に、分かりやすく、集中しやすい授業づくりを目指したいと思います。生徒に評判の良い「一中セミナー」も実施したいと思います。また、補習授業や個別の学習支援を希望する声があります。検討して参りたいと思います。

### 2 挨拶 「いつでも どこでも だれにも 挨拶する生徒」

挨拶については高い評価をキープしているものの、1学期との比較で生徒は1%、保護者は6%のダウンとなりました。1学期に意識付いていた挨拶が、徐々に薄れてきているようです。特に1、2年生の保護者の評価が下がっていることから、生徒会を引き継いだこの3学期から、2年生を中心に委員会・部活動とも連携して取り組みたいと思います。

### 3 清掃 「もくもくと汗して掃除をする生徒」

生徒の評価が上がり、保護者の評価が下がった部分です。生徒は1学期比7%のアップ、保護者は1学期比4%ダウンでした。実際、普段の清掃では取り組みに差が見られました。しかし、生徒は縦割り清掃を通して、取り組みの意識が向上しているものと思われます。保護者はこぶし祭やバザー、講演会等学校に来る機会が増え、校内外の清掃や整頓の様子等から、もっと頑張っ

て欲しいという思いがあるのではないのでしょうか。

また、清掃への取り組みと同時に、普段からの整理整頓や落ちているゴミを拾う等の気遣いができる生徒にしていきたいものです。

### 4 生活

保護者から「ノーヘルの生徒をよく見かける」という声が寄せられましたが、登下校の交通ルール遵守、スーパー等への出入り等では、昨年に比べ改善が見られます。ただ、学校自己評価とは別に、2学期は校内での器物破損や小いたずらがありました。そのためか「ルールが守れる学校にしたい」という生徒からの声もありました。

人や物に当たるのではなく、自分の気持ちや思いを言葉にしたり、問題を解決しようとしたりする生徒を育てていきたいと思います。

### 5 部活動・社会体育

部活動に対する生徒の充実度は引き続き高いです。前回の学校便りに書いたとおり、大会成績や練習の充実の様子からしても、この結果は頷けます。一方で保護者は3%下がりました。ちょうど長野県の「部活動のあり方検討委員会」の提言が出されたこともあって、生徒の疲れ具合や学習への取り組み方、生活の様子等から、今の部活や社体のあり方がこのままでいいのかという

立場からのご意見もいただきました。

県教委の方針はまだ示されておりませんが、一中としては今まで以上に、生徒の健康面や学習時間の確保に配慮した部活動を目指したいと思います。本校の部活動とスポーツ・文化活動は保護者、指導者共に生徒の健康面にも配慮してくださっており、基本的には本年度行われている取り組みを大事に考えたいと思っています。

## 平成26年度に向けて

### 1 学年行事

平成26年度の教育課程や行事の検討・計画を行っているところですが、1学年宿泊行事を変えていきます。今まで1年生は「青木湖キャンプ」を行っていましたが、小学校でも同様の行事を行っている上、施設の関係で雨天の場合、活動が困難で予備日を設けて行わざるを得ませんし、時期的に予備日も雨の可能性も低くありません。また、ねらいの一つである「学級作り」を考えたとき、もっと早い時期に行いたいと考えました。

そこで、26年度から「高遠少年自然の家」を利用して宿泊学習を行うことにしました。地元の施設ではないため、目的を「学級作り」に絞り、5月上旬に行うようにします。近隣の学校でもこの施設を使って宿泊学習を行い、学級作りに成果を上げています。現在具体的な活動計画を検討しており、詳しくは4月に1年生の保護者に向けて説明させていただきます。

また、2年生の「職場体験学習」と「登山」が近いため、準備や学習が十分できないという反省があり、26年度は6月上旬に行うことにしました。1学年はこの3学期から「キャリア学習」を行っていきます。内容そのものには変更はありません。これに伴い3年生の「農具川清掃」や1年生の「福祉体験学習」の時期も変わる予定です。

### 2 水泳学習

また、本年度から変わった「水泳」については、保護者の皆様から時期について「もっと早い時期に」という声がありました。学校としても、7月にもっと多く入れたかったのですが、この時期、スイミングでは小学生の指導が入るため、なかなか予定が入りませんでした。来年度に向けて早めに大町市教育委員会、大町スイミングスクールと連絡を取って参りたいと思います。

### 3 学力向上

学力向上の第一は「授業」です。1時間の学習の積み重ねを大事に力をつけていきたいと思えます。特に考え方の筋道をたどることができる板書（ノートの取り方）を大事にしたり、生徒同士の対話や意見交換等「コミュニケーション力」を生かした授業展開にしたりしていきたいと思えます。

しかし、授業だけでは全ての生徒の「スキル」は上がりません。技能を身につけたり、多様な問題を解くことで解決方法の見通しを持ったりします。そのために一つは朝の活動での「ドリル」の時間、もう一つは「家庭学習」です。どちらも目的意識を持って取り組むよう、指導して参ります。また、学校評価でも出ていますが、「補習的学習の位置づけ」について検討しております。生徒に好評の「一中セミナー」は継続したいと思えます。それ以外に後期の日課に補習的学習の時間を設定できないか検討中です。

### 4 体力向上

大町市の中学生の体力テストによる数値は県・国と比較して男女とも全ての学年で低いです。一中生も同様です。特に運動部やクラブに入っていない生徒は体育しか運動しない状況です。健康な身体を維持するためには少なくとも「1日1時間」の運動が望ましいです。そのためには、まず「登下校で自家用車による送迎をやめること」つまり歩いたり自転車に乗ったりして身体を動かす機会を確保してください。体育では「からだづくり」の運動を取り入れた準備体操等工夫して参ります。

また、登山に向けた体力作りや、こぶし祭の「秋の陣」に向けた学級練習等にも積極的に取り組みたいと思えます。